

<平成 29 年 2 月 21 日発表>

平成 29 年 4 月 12 日 (水)

マリンワールド海の中道 グランドオープン ～海をより身近に感じられるリゾート施設へ～

- (株)海の中道海洋生態科学館(福岡市東区 代表取締役社長 岡村卓也)が運営する「マリンワールド海の中道」(以下、マリンワールド)は、昨年 10 月 3 日より全館リニューアル工事を行っていましたが、4 月 12 日(水)にグランドオープンいたします。
- マリンワールドは平成元年のオープン以来、福岡市内唯一の水族館として多くの皆さまに親しまれてきました。新しいマリンワールドは、①展示の進化、②空間演出の強化、③施設の快適性の向上により、海をより身近に感じられるリゾート施設へと生まれ変わります。
- 展示の進化では、展示のテーマを従来の“対馬暖流”から“九州の海”へと変更し、荒波と気泡で躍動感と臨場感を演出する「玄界灘水槽」を目玉として、九州各地の多様な海を表す水槽を展示いたします。そのほか、博多湾を背景としたショープールは、観客席側に新たにステージを設けることで、より迫力感のあるアシカやイルカのショーをお楽しみいただけます。
- 新たに設置する情報発信拠点「情報ひろば うみのたね」は、子どもから大人まで生態系や自然環境への理解を深めることのできる学習機能を果たします。また、山間部の水源を再現した「阿蘇 水の森」は、森と海の有機的な繋がりを感じていただける空間として誕生します。
- 空間演出の強化では、今回のリニューアルオープンのシンボルとなる高さ 15 メートルの「滝と緑のセンターガーデン」をエントランスに設け、水と緑で彩ったリゾート空間を演出いたします。
- 施設の快適性の向上では、レストランやショップの全面リニューアル、トイレの改修やパウダールームの新設、多言語対応の強化等を実施し、すべてのお客さまがより快適に海の世界をお楽しみいただける施設に生まれ変わります。
- マリンワールドでは、今後も福岡県内唯一の水族館として、地元のみなさまはもちろん、観光のお客さまにも足を運んでいただける、魅力ある施設運営を推進してまいります。

■「マリンワールド海の中道」グランドオープンの概要

【オープン日】 平成 29 年 4 月 12 日(水) 9 時 30 分 オープン

【投資額】 約 30 億円

【ロゴ】 マリンワールドの建物正面の外観をモチーフとしたデザインです。



1. 展示の進化

<九州の海>

展示のテーマを従来の“対馬暖流”から“九州の海”へと変更し、荒波と気泡で躍動感と臨場感を演出する「玄界灘水槽」のほか、九州各県を代表する約 350 種類・3 万匹の生物を展示します。水槽の形状に工夫を凝らすほか、光・音響・プロジェクター投影などを活用した演出方法で、生物とその生息環境をリアルに再現します。



<ショープール>

観客席側に新たにステージを設置することで、より迫力のあるアシカやイルカのショーをお楽しみいただけます。



<「①情報ひろば うみのたね」「②阿蘇 水の森」>

- ①パネル展示や体験型ワークショップを実施するほか、各地で活動する団体とも協力しながら子どもから大人まで生態系や自然環境への理解を深める学習機能を果たします。
- ②「阿蘇 水の森」では、大地に降り注いだ雨は湧水となって森や里地を潤し、やがて川となって海を育むことから、自然は有機的につながっていることを感じていただけるゾーンです。



①情報ひろば うみのたね



②阿蘇 水の森

2. 空間演出の強化

＜滝と緑のセンターガーデン＞

エントランスフロアに、15メートルの吹き抜け空間を設け、壁の緑化・滝の裏側の通路化などにより、緑に囲まれたリゾート空間を演出します。



3. 施設の快適性の向上

＜レストランのリニューアル＞

レストランは店名を「restaurant Reilly」と改め、内装のリニューアルを実施します。お食事を楽しみながらイルカショーの水中の様子がご覧いただけることに加え、今回新たに店内に大型のモニターを2基設置することで、水上の様子もライブでご覧いただけるようになります。

＜アメニティの強化＞

トイレの改修やパウダールームの新設、授乳室の改装移転のほか、エレベータの大型化や通路スロープの改修を施し、すべてのお客さまがより快適にお過ごしいただける施設に生まれ変わります。

＜多言語対応＞

外国からのお客さまがより快適に観覧していただけるよう、新たに4ヶ国語(日本語・英語・韓国語・中国語)の音声ガイド機能を導入するほか、館内の案内サインを、4ヶ国語(日本語・英語・韓国語・中国語〔簡体語・繁体語])対応といたします。

(参考)「マリンワールド海の中道」の概要

| | |
|--------|-------------------------------|
| 【開館日】 | 平成元年4月18日 |
| 【所在地】 | 福岡市東区大字西戸崎18番28号(国営海の中道海浜公園内) |
| 【所有】 | 国土交通省 九州地方整備局 |
| 【竣工】 | I期工事:平成元年、II期工事:平成7年 |
| 【運営】 | (株)海の中道海洋生態科学館 |
| 【建物面積】 | 21,400㎡(地上4階、地下1階) |
| 【駐車場】 | 408台(普通382台、大型18台、障がい者8台) |

【入館料金】 ※グランドオープン後の料金となります。

| 区分 | | 大人 | 高校生 | 中学生 | 小学生 | 幼児 〔4歳以上〕 〔小学生未満〕 |
|---------|------|-----------------------------|--------|--------|--------|-------------------------|
| 個人 | | 2,300円 〔シニア料金 1,840円〕 | 2,300円 | 1,200円 | 1000円 | 600円 |
| 団体 | 一般 | 1,840円 | 1,840円 | 960円 | 800円 | 480円 |
| | 学校割引 | — | 1,610円 | 840円 | 700円 | 420円 (幼稚園・保育園) |
| 年間パスポート | | 4,500円 | 4,500円 | 2,300円 | 1,900円 | 1,100円 |

【営業時間】 3月1日～7月中旬 9時30分～17時30分
7月下旬～8月31日 9時00分～21時30分
9月1日～11月30日 9時30分～17時30分
12月1日～2月末日 10時00分～17時00分

【休館日】 2月の第1月曜日及び翌日

[\(参考\) 株式会社海の中道海洋生態科学館の概要](#)

【設立】 昭和63年3月17日

【代表者】 取締役社長 岡村卓也

【所在地】 福岡市東区大字西戸崎 18番28号(国営海の中道海浜公園内)

【資本金】 150百万円

【従業員数】 66名

【株主】 西日本鉄道(株)、九州旅客鉄道(株)、九州電力(株)、福岡地所(株)、(株)環境開発

この件に関するお問い合わせは、西鉄お客さまセンター(TEL0570-00-1010)まで